

2020 年度

授業概要

科目名	理学療法評価学実習Ⅱ			授業の種類	実習	講師名		
授業回数	23回	時間数	45時間 (1単位)	配当学年・時期	理学療法士科3年	前期	必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕								
<ul style="list-style-type: none"> ・臨床評価実習Ⅱに必要な知識、技術および思考能力を身につける。 ・トップダウン形式による障害増の把握が出来るようになる。 								
〔授業全体の内容の概要〕								
<ul style="list-style-type: none"> ・実習室にて行う。初めの30分を目安に、学生同士がペアとなり、実際の理学療法場面を想定しながら検査測定手技を強化する。 								
〔講師の実務経験〕								
豊中平成病院、西宮回生病院にて理学療法士として7年間勤務								
〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕								
<ul style="list-style-type: none"> ①目の前の患者様に対し、検査測定をスムーズに行えるようになる。 ・動作分析から問題点に関する仮説が想起できるようになる。・統合と解釈が出来るようになる。 								
回数	講義内容							
1	概論							
2	実習 筋・骨格系機能障害を呈する症例の、問題点に関する仮説を想起する①							
3	実習 筋・骨格系機能障害を呈する症例の、問題点に関する仮説を想起する②							
4	疾患による評価項目・実習							
5	疾患による評価項目・実習							
6	疾患による評価項目・実習							
7	疾患による評価項目・実習							
8	疾患による評価項目・実習							
9	疾患による評価項目・実習							
10	疾患による評価項目・実習							
11	疾患による評価項目・実習							
12	疾患による評価項目・実習							
13	疾患による評価項目・実習							
14	疾患による評価項目・実習							
15	疾患による評価項目・実習							
16	疾患による評価項目・実習							
17	疾患による評価項目・実習							
18	疾患による評価項目・実習							
19	疾患による評価項目・実習							
20	疾患による評価項目・実習							
21	疾患による評価項目・実習							
22	疾患による評価項目・実習							
23	疾患による評価項目・実習							
【 準備学習・時間外学習 】								
【 使用テキスト 】								
書籍名			著者名			出版社		
疾患による評価項目・実習								
【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】								
定期試験小テスト・実技によって総合的に判定する。								